

平成26年度FD研究検討委員会 勉強会
「コースツリーの作成について」



2014.7.22

コースツリーを作成するために

松下 佳代

高等教育研究開発推進センター

matsushita.kayo.7r@kyoto-u.ac.jp

CONTENTS

- コースツリーの定義
- 導入の背景
- 教育課程の体系化の流れ
- コースツリーの意義
- コースツリーの構成要素
- コースツリーのいくつかのタイプ
- コースツリーの作成手順

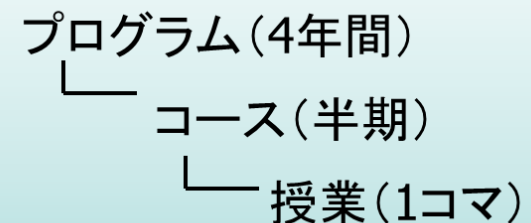
コースツリーの定義

● コースツリー ＝履修系統図

- 「学生に身につけさせる知識・能力と授業科目との間の対応関係を示し、体系的な履修を促す体系図、カリキュラムマップ、カリキュラムチャート等」(中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」2012年8月)
- プログラムにおける科目間の関係と履修の順次性を表した図

* コース (course)

- 「コース」とは、授業科目のことであり、「工学部情報学科数理工学コース」のような「学科」の下の単位を表わすのではない



導入の背景

—なぜ今、京大でコースツリーを導入するのか

● 高等教育政策

- 学位(学士、修士、博士)の国際的通用性の要請
- 大学教育の質保証の要請



- 教育課程(学位プログラム)の体系化の必要性
→ 体系化のツールとしての**コースツリー**

● 大学評価への対応

- 大学機関別認証評価(平成25年度実施)
… 教育課程の体系化が課題
- 法人評価(平成28年度実施予定)

【参考】大学機関別認証評価 評価基準(平成24年3月改訂)

基準5 教育内容及び方法

(学士課程)

- 5-1 教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)が明確に定められ、それに基づいて教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準が授与される学位名において適切であること。
- 5-2 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。
- 5-3 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)が明確に定められ、それに照らして、成績評価や単位認定、卒業認定が適切に実施され、有効なものになっていること。

(大学院課程(専門職学位課程を含む。))

- 5-4 教育課程の編成・実施方針が明確に定められ、それに基づいて教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準が授与される学位名において適切であること。
- 5-5 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等(研究・論文指導を含む。)が整備されていること。
- 5-6 学位授与方針が明確に定められ、それに照らして、成績評価や単位認定、修了認定が適切に実施され、有効なものになっていること。

教育課程の体系化の流れ

大学の教育・研究の基本理念の確認



ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの設定

大学全体（学士課程、大学院課程、専門職大学院課程）のポリシー
各学部・研究科・専門職大学院のポリシー



教育課程の体系化

コースツリーの作成



ナンバリングの設定



シラバスの再構成

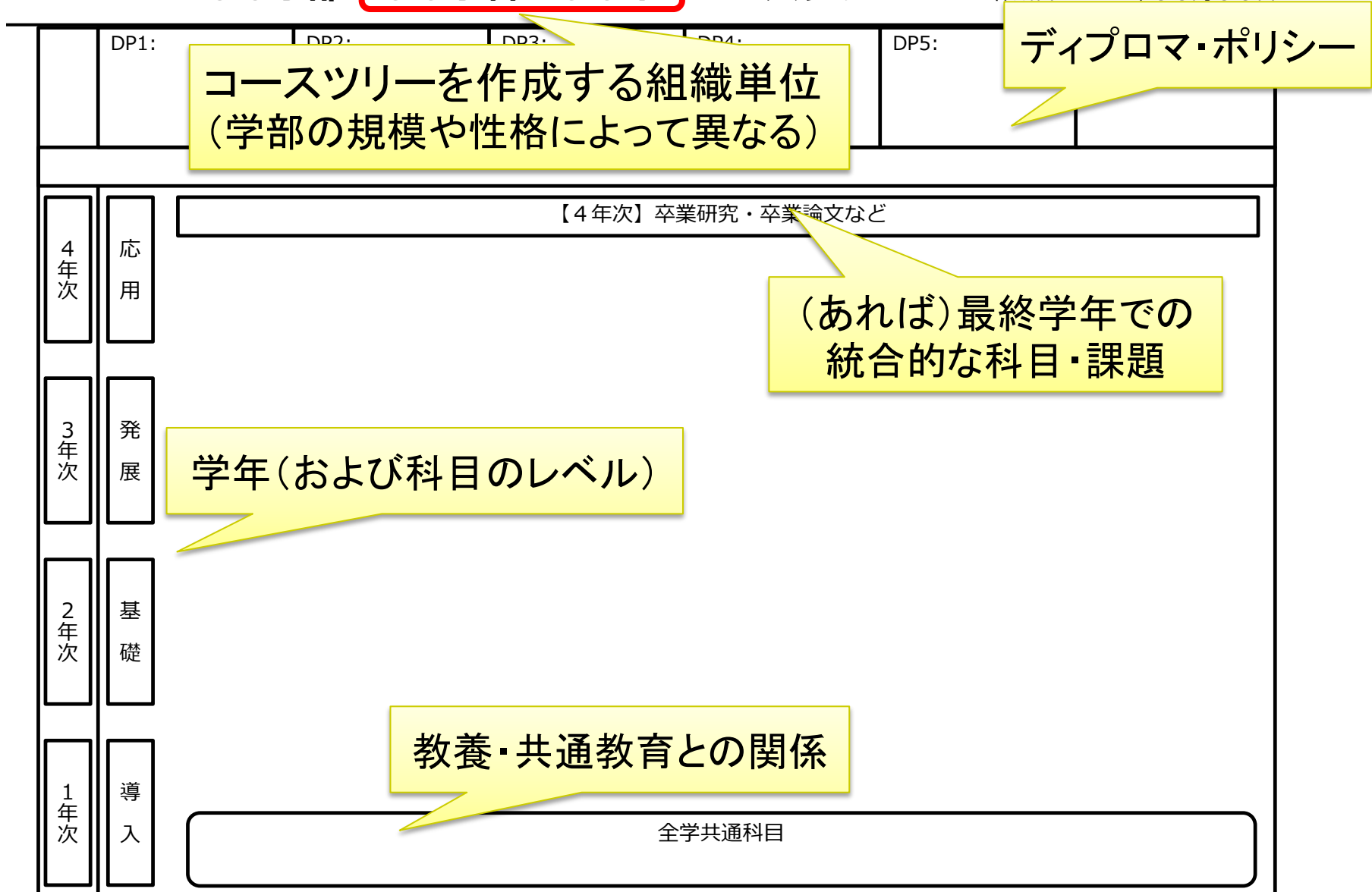
コースツリーの意義

- 学生・教職員にとっての意義
 - 学生にとって
 - 入学から卒業までの履修の仕方がイメージしやすくなる
 - 他学部・学科、他大学、外国の大学などで提供されている科目との対応関係がみやすくなる
 - 教職員にとって
 - 自分の担当する科目と他授業科目との関係がわかりやすくなる
 - カリキュラムの見直しがしやすくなる

コースツリーの構成要素

○○学部 ○○学科 ○○系 コースツリー

作成日：2014年○○月○○日



コースツリーのいくつかのタイプ

● コースツリーの多様性

- 学部・分野によるカリキュラムの体系性の違い
 - 科目選択の幅: 小 \leftrightarrow 大
 - 順次性: 積み上げ型 \leftrightarrow 非積み上げ型

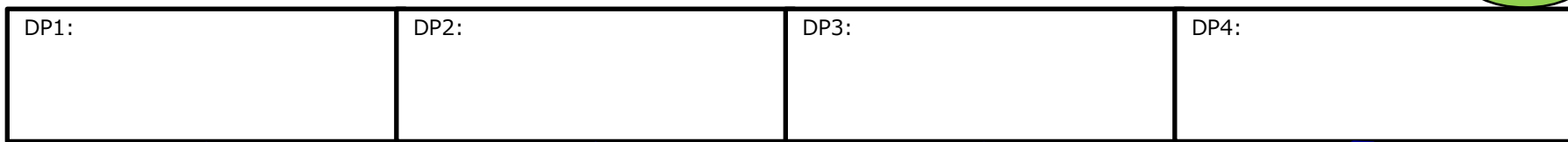
● タイプごとのテンプレート

- タイプ1: 科目型
 - タイプ2: 科目群型
 - タイプ3: 科目タイプ別型
 - タイプ4: 学年型
 - タイプ5: 分野分岐型
 - タイプ6: 高構造化型(配線図型)
 - タイプ7: 6年制型(医歯薬型)
 - タイプ8: 修士課程用(2年間)
 - タイプ9: 博士課程用(5年間)
- (*単独で用いるのはあまり望ましくない)

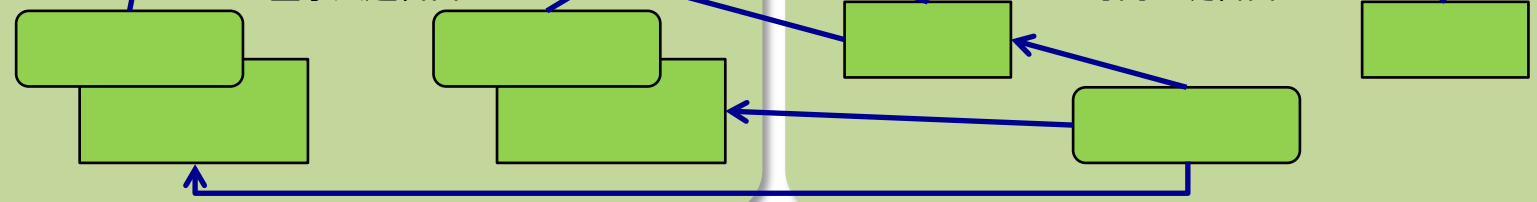
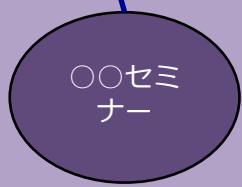
座学

実験・演習

その他



卒業研究・卒業論文など



4年次

3年次

2年次

1年次

課題解決能力・表現力の向上

論理的思考能力の養成

基礎学力の修得

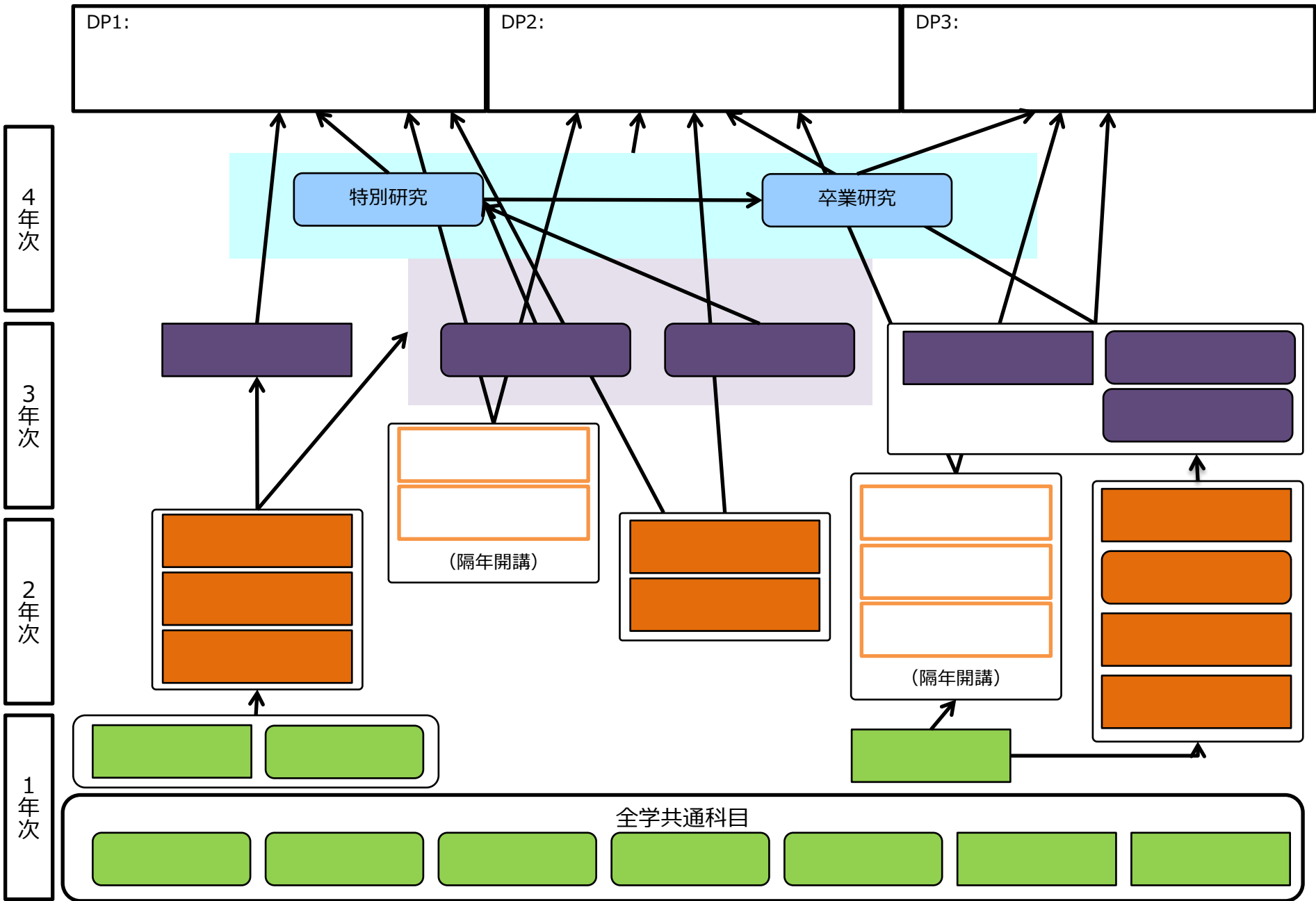
【2.科目群型】 ○○学部 ○○学科 ○○系 コースツリー

作成日：2014年○○月○○日

座学

実験・演習

その他



座学

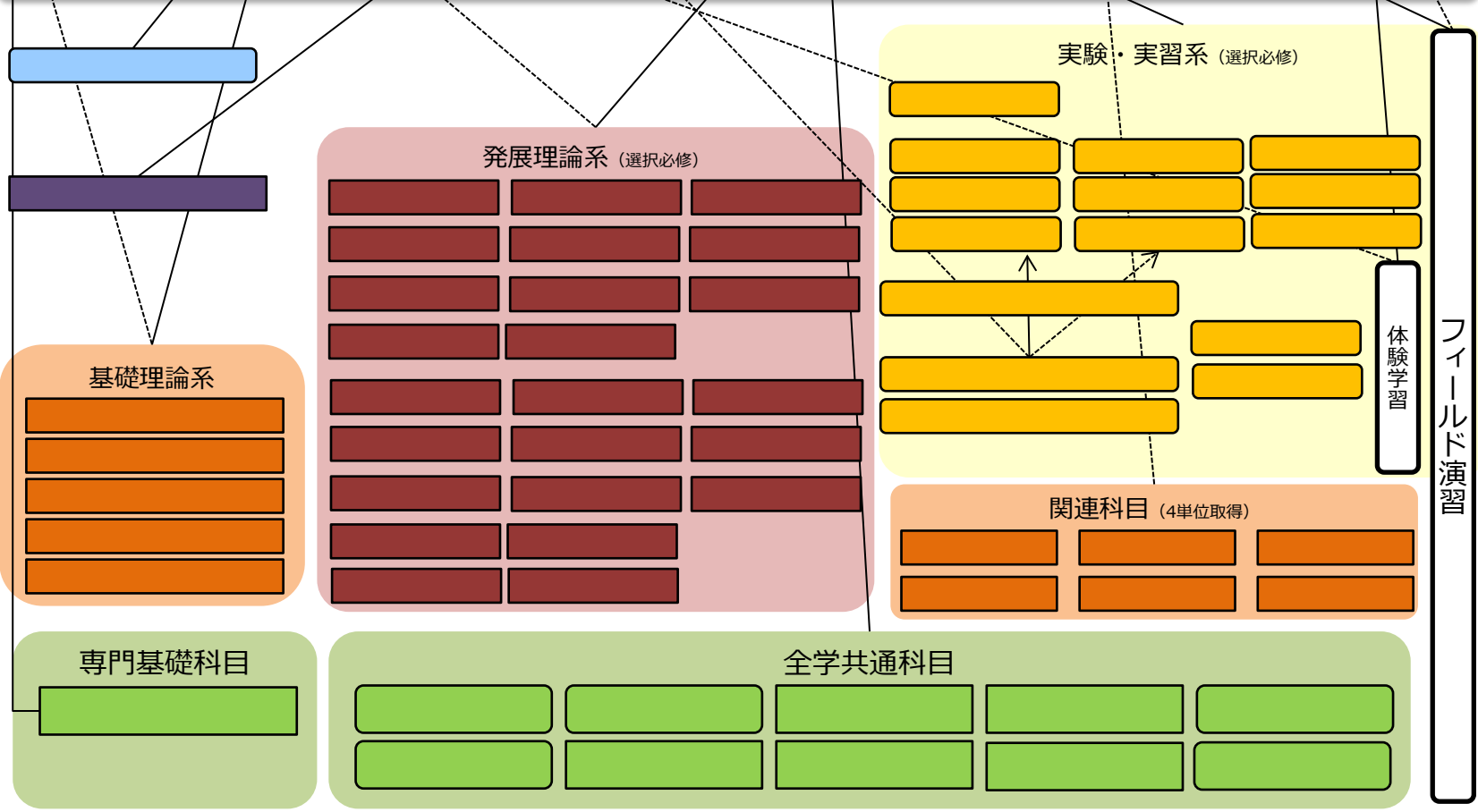
実験・演習

その他

DP1:	DP2:	DP3:	DP4:	DP5:	DP6:
------	------	------	------	------	------

卒業研究・卒業論文など

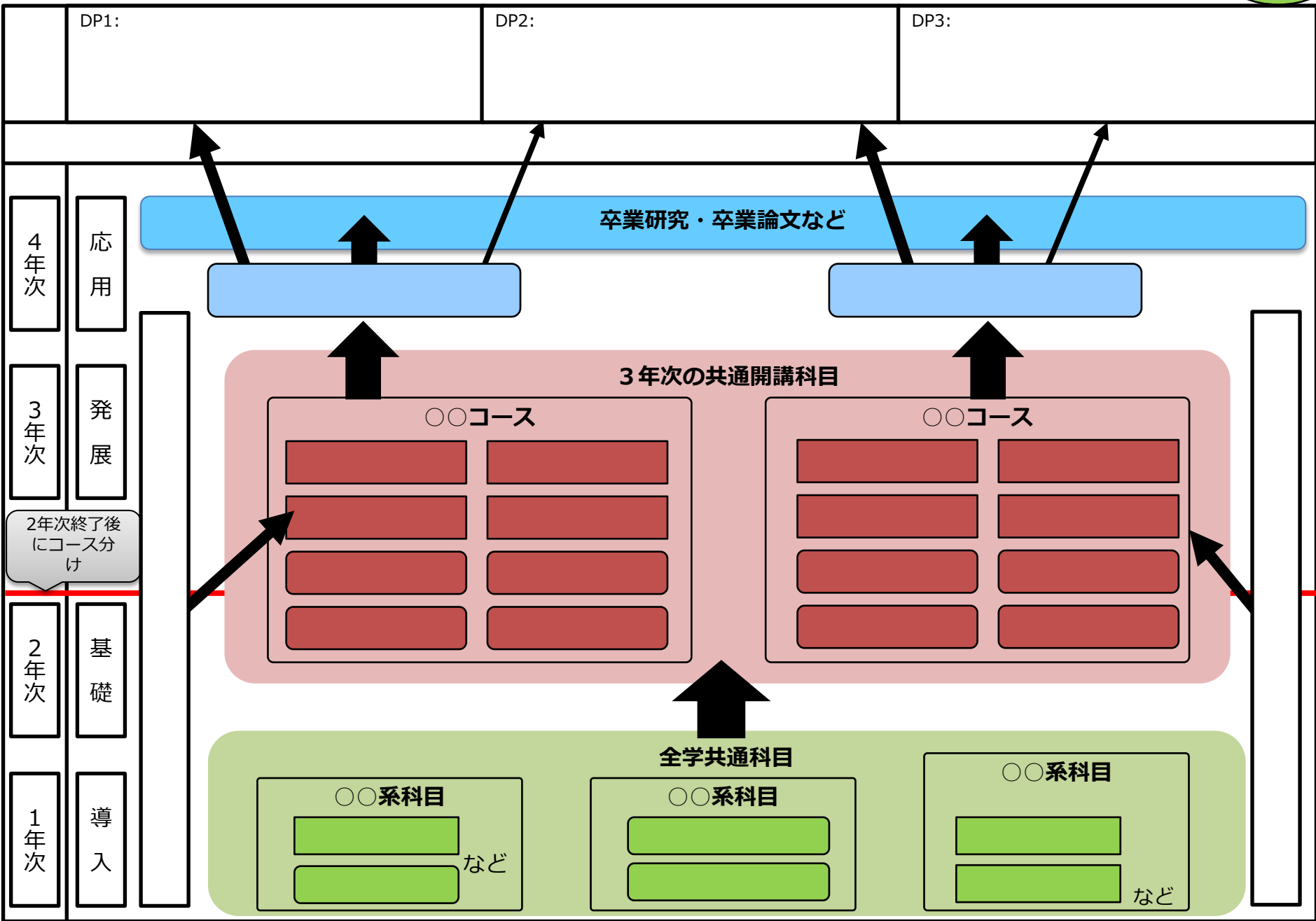
4年次	応用
3年次	発展
2年次	基礎
1年次	導入

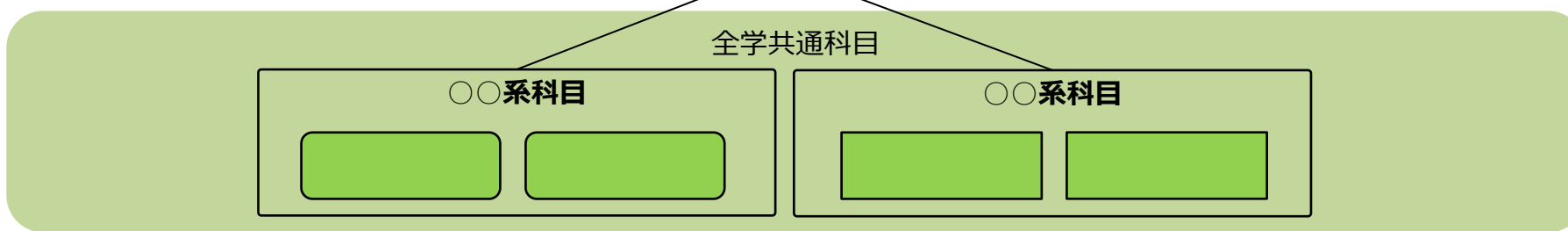
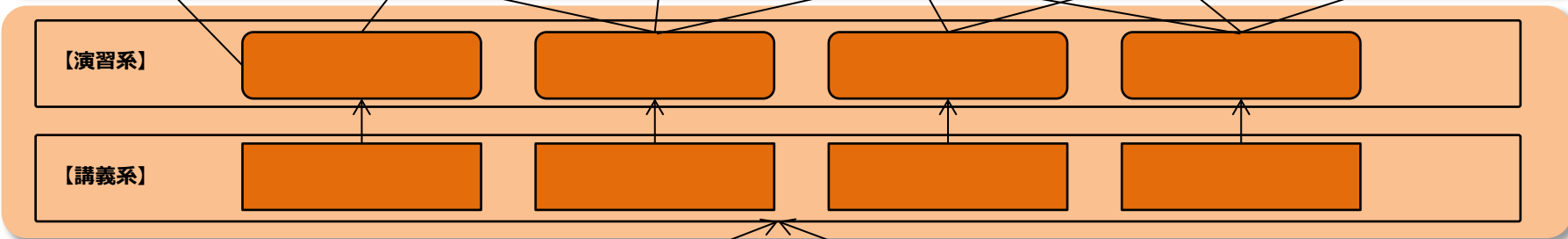
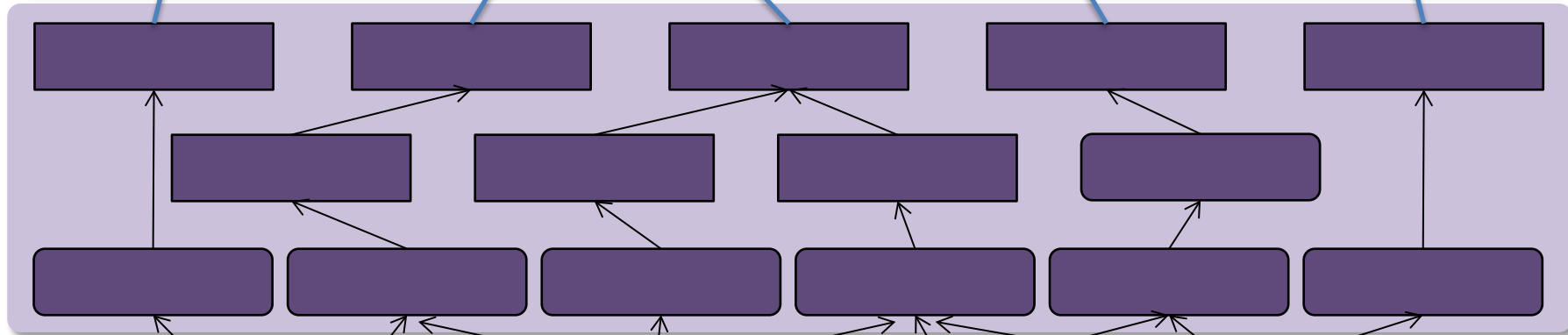
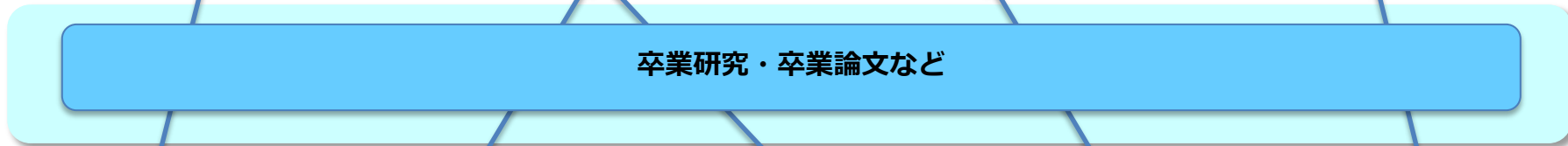
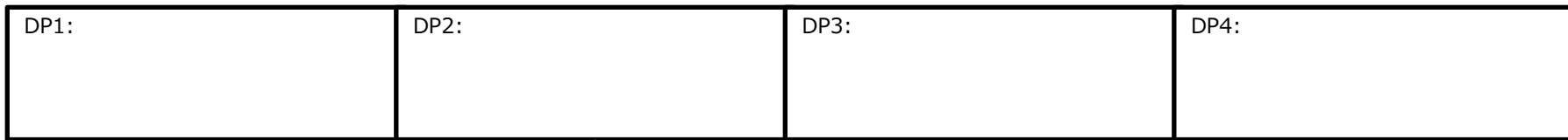


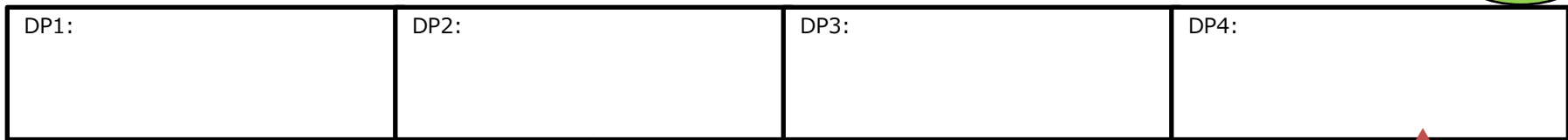
座学

実験・演習

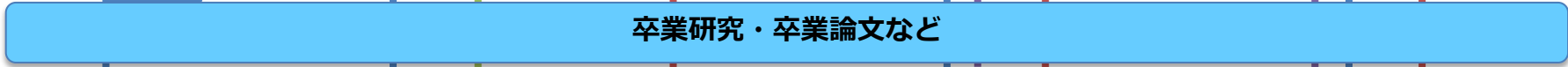
その他



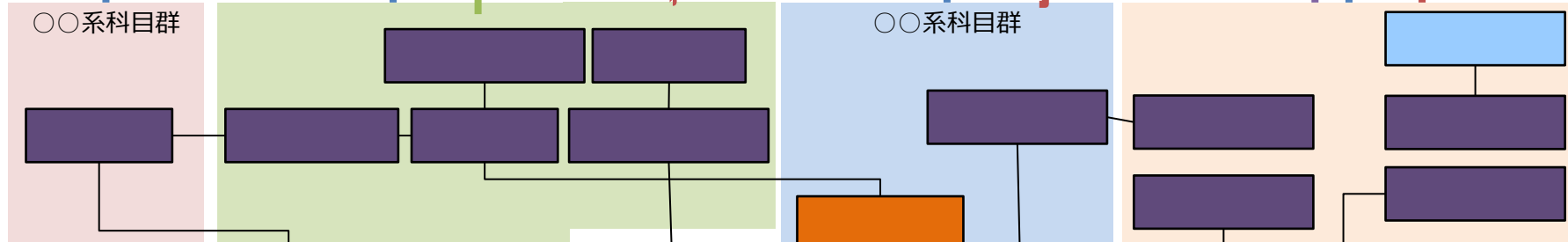




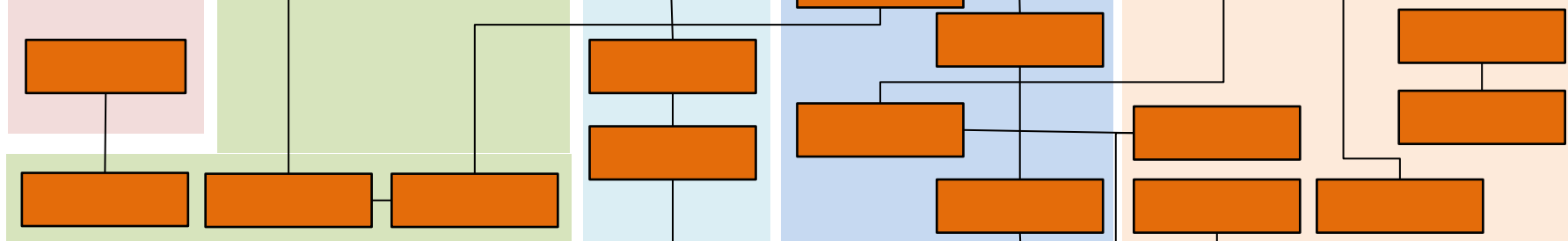
4年次



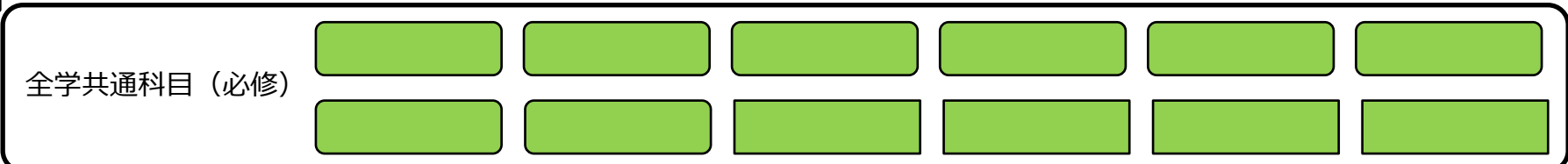
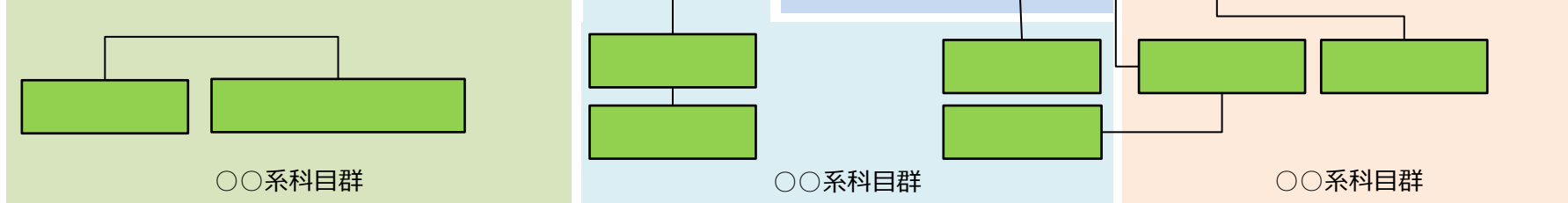
3年次



2年次



1年次



基礎医学系研究者、社会医学系研究者

医師、臨床医学系研究者

大学院医学研究科

医師国家試験

DP1:

DP2:

DP3:

DP4:

【基礎医学】社会医学系科目群

【基礎医学】社会医学系科目群



【基礎医学】社会医学系科目群



臨床実習開始前 共用試験 (OSCE、CBT)

【基礎医学】社会医学系科目群



【基礎医学】社会医学系科目群



【基礎医学】社会医学系科目群



【基礎医学】社会医学系科目群



【基礎医学】病理系科目群



【基礎医学】生理系科目群



【基礎医学】専門基礎科目群



全学共通科目



5②~6②

4②~5①

4①

3②

3①

2②

2①

1

DP1:

DP2:

DP3:

DP4:

DP5:

DP6:

【2年次】修士論文

2年次

1年次

修士課程

	DP1:	DP2:	DP3:	DP4:	DP5:	DP6:
--	------	------	------	------	------	------

博士後期課程	3年次	【3年次】博士論文
	2年次	
	1年次	

修士課程	2年次	【2年次】修士論文
	1年次	

コースツリーの作成手順

- 1. コースツリーを作成する組織単位を選ぶ(学部、学科、系など) [cf. 九州大学](#)
- 2. DPを記入する(学生が卒業・修了時までには獲得すべき知識・スキル・態度等)
- 3. 科目を履修年次ごと、レベルごとに並べる
- 4. 科目をカテゴリーに分ける(内容や形態で)
- 5. 全学共通科目を記載する(各学部で学生に履修を義務づけている科目を中心に)
- 6. 科目(科目群、科目タイプ)間の関係を示す
- 7. DPとの関連性を記載する
- 8. 図のレイアウトを整える(なるべくA4一枚でおさめる)

参考資料

- 中央教育審議会 (2008). 「学士課程教育の構築に向けて(答申)」.
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm
- 中央教育審議会 (2012). 「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～(答申)」.
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm
- 大学評価・学位授与機構 (2012). 「大学機関別認証評価 大学評価基準(平成25年度実施分)」
http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/daigaku/1206401_833.html
- 北海道大学教育改革室 (2013). 「順次性のある体系的な教育課程の構築に向けて～ナンバリング実施の手引き～」
www.hokudai.ac.jp/introduction/gov/office/education/numbering.pdf

* そのほか、コースツリーの事例については、以下の大学のものが参考になる。

- 九州大学 <http://www.kyushu-u.ac.jp/education/map.pdf>
- 山口大学 <http://www.epc.yamaguchi-u.ac.jp/CFC.html>
- 愛媛大学 <http://web.iess.ehime-u.ac.jp/kensyukai/itiran.html> (*リンク切れが多い)